

	九州大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：111（6年制）、12（4年制）） 医学系学府（医学研究院）（M：20 D：107 P：20） システム生命科学府（D：54） 生体防御医学研究所
沿革・設置目的	<p>福岡藩賛生館の流れを汲み、医学に関する教育・研究を行うことを目的に、福岡県立福岡医学校、京都帝国大学福岡医科大学、九州帝国大学医科大学、九州帝国大学医学部を経て、昭和24年（1949年）九州大学医学部として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 新制九州大学設置  <u>昭和24年（1949年） 新制九州大学医学部設置</u>  昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置（平成12年（2000年）医学系学府及び医学研究院に改組）  昭和57年（1982年） 生体防御医学研究所設置  平成15年（2003年） 大学院システム生命科学府設置  平成16年（2004年） 国立大学法人に移行  平成22年（2010年） 生体防御医学研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 九州大学の理念等に基づき、我が国の医学・医療の多彩な分野において指導的な役割を果たし、アジアをはじめ広く世界で活躍する医師・医学研究のリーダーの養成を積極的に推進する。また、効率的な医療経営・管理を実践できる高度専門職業人の養成を積極的に推進する。</p> <p>○ 久山町研究等長年に渡るコホート研究や医用工学等の実績を活かした生活習慣病、がんの克服に向けた先進的研究、免疫学等の生体防御機構に関する先端的研究（多階層オミックス研究等）を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。</p> <p>○ 橋渡し研究支援拠点として、基礎研究成果の臨床への橋渡しを強力に支援することにより研究成果の実用化を推進するとともに、臨床研究中核病院として、国際水準の質の高い臨床研究や難病等の医師主導治験を推進するための中心的な役割を果たし、医療情報のビックデータ研究への応用等を進め、日本発のイノベーション創出を目指す。</p>

- 先進医療や移植医療等の実績を活かし、高度・先進的な医療を積極的に展開するとともに、アジアを中心とした世界各拠点病院との遠隔医療ネットワークの構築と連携を推進する。
- 特定機能病院、都道府県がん診療連携拠点病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、都道府県災害拠点病院等としての取組を通じて、福岡県における地域医療の中核的役割を担う。